

徳地森の子くらぶ ～ポン太の森で冬を感じよう～

平成30年12月26日（水）～27日（木）

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 56名（小学校3・4年生）、法人ボランティア11名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:10 始まりの会
- 11:30 みんなであそぼう！（アイスブレイク）
- 12:15 お弁当タイム
- 13:30 ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）
- 19:00 テーマトーク

2日目

- 9:00 外遊び
- 10:00 アウトドアクッキング（ホットドッグ・焼き芋）
- 13:20 さよならの会
- 14:00 バス乗車/終了

「始まりの会」

「みんなで遊ぼう！（アイスブレイク）」



今回の年末の開催となった森の子くらぶには、110名以上の申込みがあった。キャンプには、56名の小学3・4年生が参加しました。アクティビティの中で、グループで自己紹介を行ったり、お互いに話しあったりした。この活動を通して、児童間やボランティアとの間にあった緊張がほぐれていった様子であった。

「ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）」

「大丈夫」、「ありがとう」、「一緒にやろう」などのふわふわ言葉が使われる場面がたくさん見られた。

クラフト活動においても自然物の特徴を使い、ランタンを作成する姿が見られた。のこぎりという普段使いできないものも体験することができた。

グループの仲間と一生懸命活動して、すべてのグループがミッションクリアへ向かった。



「テーマトーク」

暗くなった部屋の中でポン太の森の探検隊で作成した竹ランタンを灯した。暗くなった部屋でのランタンの光に児童たちからも「すごい」「きれい」等の感想を聞くことができた。

その中で「好きな事」、「外遊びの遊び方」や「将来の夢」について話し合えるグループも見ることができた。



「アウトドアクッキング（ホットドッグ・焼き芋）」



アウトドアクッキングではグループで「ホットドッグ」と「焼き芋」を作った。1日目に決めた班目標を達成するために、ふわふわことばを意識して使う班の姿を見ることができた。

前日に薪係、調理係と役割を決めて、その役割に沿って活動を進めた。は与えられた役割を、一生懸命果たそうとする児童の姿が見られた。

また、仲間が困難な状況にあるとき、自分の役割だけではなく、仲間の事を考えて、お互いに声を掛け合い協力する姿が見られた。片付けにおいても自分たちの片付けを早く終えた後、会場全体の片付けへと自主的に取り組む姿を見せる班があった。

そのため、設定していた時間よりも早く終えることができた。

【参加者の声】

「たくさん自然があってもだちも作れたからよかった。」「いろんな発見があって楽しかった。」「いろいろな初めての体験ができた。」「班のみんなと協力して楽しく活動できた。」「たくさんの人と遊べたり、友達になれたから」などの感想をいただいた。

【成果】

今回の森の子くらぶでは、最初、円滑にグループで活動を行うことが困難な班が見られた。しかし、「ポン太の森の冒険隊（ネイチャービンゴ）」や「テーマトーク」の活動を通して徐々にお互いの合意形成をしていく班の姿が見られた。「アウトドアクッキング」では協力して活動に取り組めた班が多く見られた。

【課題】

対象者理解が甘い部分があった。「テーマトーク」を円滑に行えるグループと行えないグループとに分かれていた。夜暗い中で落ち着いて1時間話し合うことが困難である姿が見られた。